

～生徒のみなさんの感想より～

●（最新の設備を導入したり、施設を充実させたりするなど）先生方が生徒のためにできることを全力でやっている感じが伝わってきて、とてもワクワクしました。同時に入試の厳しさや就職の現実を知りました。やはり今から、今日から積み上げていって、自分の人生を作り上げていきたいと思いました。

●お話を伺って、今できることは公立や私立の情報厚めなので、いろいろな学校をよく調べていきたいと思いました。また、勉強は1・2年の基礎固めが大切だとわかったので、復習を頑張りたいです。

●浦和実業学園高校の勉強もできるカフェなら、僕も朝早くから行ってみたいと思いました。また、「目指す生徒像」なども、行きたい高校を選ぶ材料にしていきたいと思いました。

●私立は設備やカリキュラム、用具などが充実していること、公立の「学校選択問題」では数学と英語で「ふるいにかける」ために難しい問題が出るのがわかりました。大切なのは、その入った高校で「何をするか」だということがよくわかりました。今からできるのは成績を上げることと、入試の50%を閉める「1・2年の問題」の復習だと知ったので、今のうちから頑張りたいです。

●私立と公立では、それぞれの良さがたくさんあって、どちらも行きたくなってしまうほどでした。

●高校の先生からお話を伺って、受験が近づいてきていることを実感しました。

●気づいたらもう2年生で、残りの約1年間なんて一瞬で終わってしまうんだなと思いました。これからは自分の行きたい高校に行けるように勉強をしていきたいです。ただ勉強するだけでなく、その高校が「求める生徒」になれるように、日々の授業にも真剣に取り組んでいきたいと思います。

●印象に残っているのは、「受験に『早すぎる』はない」「大事なのはどの高校に行くかではなくて、その高校に行って何をするのかだ」という言葉です。正直、受験するという実感がわかかなかったけれど、話を伺ったら、今から5分でもいいから毎日勉強しようと思いました。

●これまでは「ただ偏差値が高くて、憧れているから」という理由で高校を選択しようと思っていましたが、今回のお話を聞いて、「高校で何をしたいか」を明確にしようと思いました。

●入試問題は、1年生と2年生で学んだものが多いと知りました。今のうちから勉強して、高校受験のときに後悔しないようにしたいと思いました。